

講演プログラム

第1会場

第2会場

第3会場

第4会場

12月20日(土)10時05分~11時05分 大会長基調講演

会場:第1会場 講堂(2号館6階)

司会:小塚 直樹 (北海道千歳リハビリテーション大学)

子どもとご家族の生活と希望に基づいた成果の出せる楽しい小児理学療法:

子どもとご家族が主体となるサービス

藪中 良彦 (大阪保健医療大学保健医療学部リハビリテーション学科)

12月20日(土)11時10分~12時10分 特別講演

会場:第1会場 講堂(2号館6階)

司会:藪中 良彦 (大阪保健医療大学保健医療学部リハビリテーション学科)

OPC (Occupational Performance Coaching) の紹介

Dr. Laine Chilman (PhD/University of the Sunshine Coast)

Dr. Charmaine Bernie (PhD/Southern Cross University)

12月20日(土)12時20分~13時10分 ランチョンセミナー①

会場:第1会場 講堂(2号館6階)

共催: インターリハ株式会社

脳性まひ児の歩行障害に対する整形外科的治療

則武耕治 (愛知県三河青い鳥医療療育センター)

12月20日(土)13時20分~14時10分 教育講演①

会場:第1会場 講堂(2号館6階)

司会:藤田 ひとみ (名古屋市立大学医学部保健医療学科)

CO-OP アプローチ

塩津 裕康 (名古屋市立大学医学部保健医療学科)

12月20日(土)14時20分~15時10分 教育講演②

会場:第1会場 講堂(2号館6階)

司会:西部 寿人 (北海道立子ども総合医療・療育センター)

家族の思いを評価する Measure of Processes of Care (MPOC)

樋室 伸顕 (札幌医科大学医学部社会医学講座公衆衛生学分野)

12月20日(土)15時20分~17時50分 シンポジウム

会場:第1会場 講堂(2号館6階)

司会:横山 美佐子 (北里大学医療衛生学部リハビリテーション学科)

テーマ:子どもと家族の生活を知り、子どもとご家族と一緒に目標設定しよう

F-words の視点で考える子ども達の可能性と生活支援

黒川 洋明 (島田療育センターはちおうじ)

子どもの活動や参加に焦点を当てた目標設定のためのアプリ (ADOC-S) の紹介

友利 幸之介 (東京工科大学医療保健学部リハビリテーション学科)

子どものADL評価のゴールドスタンダード — PEDI の臨床応用と研究活用 —

楠本 泰士 (福島県立医科大学保健科学部理学療法学科)

COPM, GAS, SMART 方式の紹介

藪中 良彦（大阪保健医療大学保健医療学部リハビリテーション学科）

12月20日(土)11時10分～12時00分 臨床セミナー①

会場:第2会場 25A(2号館5階)

司会：木元 稔（秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻理学療法学講座）
脳性麻痺に関するシステムティックレビューを臨床にどう生かすか

富田 秀仁（豊橋創造大学保健医療学部理学療法学科）

12月20日(土) 12時20分～13時10分 ランチョンセミナー②

会場:第2会場 25A(2号館5階)

共催：トビー・テクノロジー株式会社
“視覚と運動”に着目した小児研究

樋口 貴広（東京都立大学人間健康科学研究科）

12月20日(土)13時20分～14時10分 臨床セミナー②

会場:第2会場 25A(2号館5階)

司会：三宅 わか子（星城大学リハビリテーション学部リハビリテーション学科）
DCDに関するシステムティックレビューを活かした臨床実践の工夫
高橋 恵里（福島県立医科大学保健科学部理学療法学科）
深澤 宏昭（相模原療育園）

12月20日(土)14時20分～15時10分 臨床セミナー③

会場:第2会場 25A(2号館5階)

司会：竹中 菜々（名古屋市立大学医学部保健医療学科）
筋ジストロフィーにおけるリハビリテーション医療の変遷
三浦 利彦（NHO 北海道医療センター神経筋 / 成育センター）

12月20日(土)15時20分～16時10分 教育講演③

会場:第2会場 25A(2号館5階)

司会：鳥山 喜之（愛知淑徳大学健康医療科学部医療貢献学科）
神経発達症の特性への理解と支援 – 自閉スペクトラムを中心に –
多田 智美（鈴鹿医療科学大学保健衛生学部リハビリテーション学科）

12月20日(土)16時20分～17時10分 教育講演④

会場:第1会場 25A(2号館5階)

司会：伊藤 卓也（鈴鹿医療科学大学保健衛生学部リハビリテーション学科）
学校保健における理学療法士の役割

川本 晃平（島根大学医学部附属病院）

12月20日(土) 12時20分～13時10分 ランチョンセミナー③

会場:第3会場 15A(1号館5階)

共催：フランスベッド株式会社

自分らしく歩くこと、自分らしく生きること

伊藤 忠（愛知県三河青い鳥医療療育センター）
ライラグレイル（合同会社ライラカンパニー）

12月21日(日)9時00分~11時30分 市民公開講座

会場:第1会場 講堂(2号館6階)

司会:横井 裕一郎 (北海道文教大学)

カナダ発、家族と共につくるこども支援の新しい形 – 「できる」から広がるこどもと家族の未来 –
Can Child からスピーカー

12月21日(日)11時40分~12時30分 ランチョンセミナー④

会場:第1会場 講堂(2号館6階)

共催:鈴鹿ロボケアセンター株式会社

小児疾患への HAL による挑戦

安永 好宏 (CYBERDYNE 株式会社)

12月21日(日)9時00分~9時50分 臨床セミナー④

会場:第2会場 25A(2号館5階)

司会:北原エリ子 (順天堂大学医学部附属順天堂医院)

Connecting the Dots – 無知を恐れず、つながりから始める臨床研究への一歩

飛田 良 (滋賀医科大学医学部附属病院)

12月21日(日)10時00分~10時50分 臨床セミナー⑤

会場:第2会場 25A(2号館5階)

司会:西川 良太 (長野県立こども病院)

小児集中治療領域に関わる知識と技術

宮城島 沙織 (日本医療大学保健医療学部リハビリテーション学科)

12月21日(日)11時00分~11時50分 臨床セミナー⑥

会場:第2会場 25A(2号館5階)

司会:川村 皓生 (国立長寿医療研究センター)

障害のある子どもの家族のメンタルヘルスとその支援について考える

浅野 大喜 (日本バプテスト病院)

12月21日(日)12時00分~12時50分 ランチョンセミナー⑤

会場:第2会場 25A(2号館5階)

共催:株式会社 S-Quatre (エスカトル)

リハビリに続く新たな道 – 乳歯歯髄幹細胞による脳性麻痺治療

佐藤 義朗 (名古屋大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター)

12月21日(日)13時00分~13時50分 臨床セミナー⑦

会場:第2会場 25A(2号館5階)

司会:儀間 裕貴 (東京都立大学健康福祉学部理学療法学科)

理学療法士が知っておくべき事故予防のための知識

栗林 詩歩未 (東京科学大学)

12月21日(日)11時40分~12時30分 ランチョンセミナー⑥

会場:第3会場 15A(1号館5階)

共催:フランスベッド株式会社

脳性麻痺診療の新たな潮流 (II)

新井 洋 (ボバース記念病院)

| | |
|--|---------------------|
| 12月21日(日) ワークショップ | 会場:第9会場 42C(4号館2階) |
| ワークショップ1 | 13:00 ~ 13:50 |
| 企画者 中島 愛 (医療法人社団ときわ赤羽在宅クリニック) 呼吸器ユーザーの僕のFun あふれたFuture | |
| ワークショップ11 | 14:00 ~ 14:50 |
| 企画者 藤田 ひとみ (名古屋市立大学) 電動移動機器を使いこなす | |
| 12月21日(日) ワークショップ | 会場:第7会場 41C(4号館1階) |
| ワークショップ2 | 13:00 ~ 13:50 |
| 企画者 北村 貴郁 (株式会社 Loving Look こども訪問看護 ST じん おかざき) ぼくたちの未来 | |
| ワークショップ12 | 14:00 ~ 14:50 |
| 企画者 東久保 和希 (三重県済生会明和病院なでしこ) 僕のFuture ~大学進学の夢をかなえるために~ | |
| 12月21日(日) ワークショップ | 会場:第8会場 41F(4号館1階) |
| ワークショップ3 | 13:00 ~ 13:50 |
| 企画者 多田 智美 (鈴鹿医療科学大学) F-Words の実践 ~通所支援施設・放課後等ディサービスへの導入の試み~ | |
| ワークショップ13 | 14:00 ~ 14:50 |
| 企画者 株式会社 Loving Look こども訪問看護 ST じん おかざき ぼくたちの未来「聴かせて！お子さん・家族のホンネ！」 | |
| 12月21日(日) ワークショップ | 会場:第9会場 42C(4号館2階) |
| ワークショップ4 | 13:00 ~ 13:50 |
| 企画者 小島 賢司 (運動教室 FunFun／横浜療育センター港南) 運動教室で行われる自由遊びをナラティブ的解釈で紐解く | |
| ワークショップ17 | 14:00 ~ 14:50 |
| 企画者 伊藤 卓也 (鈴鹿医療科学大学) 教育委員会との連携で進める学校保健活動の可能性 | |
| 12月21日(日) ワークショップ | 会場:第10会場 42D(4号館2階) |
| ワークショップ5 | 13:00 ~ 13:50 |
| 企画者 平岡 司 (西新潟中央病院) 子どもと家族のニーズを考える - 家族を中心としたケアの実践と課題 | |
| ワークショップ15 | 14:00 ~ 14:50 |
| 企画者 岩本 健人 (北部地域療育センター よつば) あいち小児リハビリネットワーク登録者の実態調査から小児リハビリテーションの今後の課題を考える | |

| | |
|---|---|
| 12月21日(日) ワークショップ | 会場:第11会場 42E(4号館2階) |
| ワークショップ6 | 13:00 ~ 13:50 |
| 重症心身障害の呼吸管理 | 企画者 北村 憲一 (静岡県立こども病院) |
| ワークショップ16 | 14:00 ~ 14:50 |
| | 企画者 鵜飼 宏和 (株式会社ジェネラス 生活介護ことあ) |
| | 生活介護事業所で理学療法士ができること～ライフステージを見据えた小児期から成人期への支援を考える～ |
| 12月21日(日) ワークショップ | 会場:第12会場 42F(4号館2階) |
| ワークショップ7 | 13:00 ~ 13:50 |
| 学校教育との関わり：全国実践共有リレー～様々な立場から | 企画者 竹田 智之 (横浜市教育委員会) |
| ワークショップ14 | 14:00 ~ 14:50 |
| | 企画者 竹田 智之 (横浜市教育委員会) |
| エデュケアハビリテーション実践ケーススタディ：子どもの授業参加の方法を考える | |
| 12月21日(日) ワークショップ | 会場:第13会場 43A(4号館3階) |
| ワークショップ8 | 13:00 ~ 13:50 |
| 子どもの「暮らし」をつなぐ理学療法～地域を舞台に、私たちにできること～ | 企画者 長島 史明 (医療法人財団はるたか会) |
| ワークショップ18 | 14:00 ~ 14:50 |
| | 企画者 高橋 恵里 (福島県立医科大学) |
| 放課後等デイサービスでの理学療法士による支援 | |
| 12月21日(日) ワークショップ | 会場:第14会場 43B(4号館3階) |
| ワークショップ9 | 13:00 ~ 13:50 |
| パラスポーツにおける理学療法士の関わり～地域でのボッチャ活動を通して～ | 企画者 北村 麻衣子 (愛知県青い鳥医療療育センター) |
| ワークショップ19 | 14:00 ~ 14:50 |
| | 企画者 里中 智子 (愛知淑徳大学) |
| 福祉系職場での理学療法士の働き方 | |
| 12月21日(日) ワークショップ | 会場:第15会場 43C(4号館3階) |
| ワークショップ10 | 13:00 ~ 14:50 |
| はじめの研究的思考！小児 PT × FINER な PEKO を作る × ChatGPT !? | 企画者 木元 稔 (秋田大学大学院) |

12月20日(土) 11時10分～12時00分口述発表①：セレクション1 会場:第3会場 15A(1号館5階)

座長：小塚 直樹 北海道千歳リハビリテーション大学健康科学部

- O-1 脊髄性筋萎縮症児における側弯症の頂椎分布の傾向－特発性側弯症との比較－
国立精神・神経医療研究センター病院 身体リハビリテーション部、加藤 太郎
電気通信大学 情報理工学研究科
- O-2 小児急性リンパ性白血病患者の運動機能と体組成の治療前後比較：ケースシリーズ
鳥取大学医学部附属病院 リハビリテーション部 成瀬 健次郎
- O-3 定型発達幼児における日本語版Lower Limb Assessment Scoreの妥当性と信頼性
の検討
福島県立医科大学 保健科学部 高橋 恵里
- O-4 発達性協調運動症を有する児における両手協調課題中の前頭葉活動：
fNIRSを用いた予備的検討
畿央大学大学院 健康科学研究科、医療法人和光会山田病院 リハビリテーション部 橋添 健也
- O-5 脳性麻痺児の介助しやすさに対する評価尺度 日本語版Ease of caregiving
for childrenの信頼性・妥当性の検討
北海道立子ども総合医療・療育センター リハビリテーション課、井上 孝仁
札幌医科大学 医学部 社会医学講座 公衆衛生学分野

12月20日(土) 13時20分～14時10分口述発表②：セレクション2 会場:第3会場 15A(1号館5階)

座長：中 徹 アール専門職大学

- O-6 認知行動療法を活用した理学療法介入により、破局的思考の改善と共にADL向上を認めた症例
東京科学大学病院 リハビリテーション部 青山 大輝
- O-7 発達途上の小児における随意的な重心移動時の姿勢制御の特性解明
北海道大学大学院 保健科学院 浅野 葵
- O-8 立位練習用補装具の工夫と整形外科的合併症への予防的配慮：
脊髄性筋萎縮症児の一症例
国立精神・神経医療研究センター 身体リハビリテーション部 坪内 綾香
- O-9 発達援助と脊柱側弯予防を意識した理学療法を行なった、長期NICU入院中の先天性
右肺無形成症児の1例
旭川医科大学病院 リハビリテーション部 岡村 綾子
- O-10 運動イメージを過小評価する神経発達症児の特徴の検討
国際医療福祉大学 保健医療学部理学療法学科 渡邊 観世子

座長：笠原 剛敏 東京臨海病院

- O-11 粗大運動能力分類システムレベルVの脳性麻痺児における体格の経年変化
鳥取県立総合療育センター リハビリテーション部 三鶴 可奈子
- O-12 健常児の適応的バランス制御の特性～歩行開始と障害物跨ぎ歩行開始との比較
大分大学 福祉健康科学部、
大分大学大学院 福祉健康科学研究科健康医科学コース、
大分大学大学院 医学系研究科理学療法研究領域 萬井 太規
- O-13 CTNNB1遺伝子異常を有する精神運動発達遅滞児が歩行介助量軽減を達成したボツリヌス療法と理学療法の経験
社会医療法人北斗 十勝リハビリテーションセンター リハビリテーション部 安部 千秋
理学療法科、
社会医療法人北斗 十勝リハビリテーションセンター 先進リハビリテーション
推進室
- O-14 脳性麻痺児を含む歩行のIMU計測における精度検証：ステップ時間・ストライド長・歩行速度の一致限界
秋田大学大学院 医学系研究科保健学専攻理学療法学講座、木元 稔
秋田県立医療療育センター リハビリテーション部
- O-15 脳性麻痺児における歩行神経筋電気刺激装置L300Go®を使用した歩行機能改善の効果検証
愛知県三河青い鳥医療療育センター 三次元動作解析室 伊藤 忠

座長：北原 エリ子 順天堂大学医学部附属順天堂医院

- O-16 切除不能肝芽腫に対する生体肝移植術後、理学療法介入により運動耐容能の向上を認めた一例
名古屋大学医学部附属病院 リハビリテーション部 白井 祐也
- O-17 早期呼吸理学療法が体外式膜型人工肺離脱に寄与した肺出血後の幼児症例
北海道立子ども総合医療・療育センター リハビリテーション課 金田 直樹
- O-18 二重課題下の荷重練習が足底の荷重時痛軽減に寄与した小児ギランバレー症候群の一例
公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院 リハビリテーション科 三木 陵平
- O-19 PICU入室中のRSウイルス感染症患者を対象としたIPV早期導入によるNPPV期間短縮効果の検証
社会医療法人愛仁会 高槻病院 技術部 リハビリテーション科、玉井 駿也
大阪大学大学院 連合小児発達学研究科
- O-20 疾患修飾薬を使用した脊髄性筋萎縮症患児における呼吸機能ピークアウト時期の検討
国立精神・神経医療研究センター病院 身体リハビリテーション部 有明 陽佑

12月20日(土) 16時20分～17時10分口述発表⑤：神経発達症

会場:第3会場 15A(1号館5階)

座長：樋室 伸顕 札幌医科大学

- O-21 発達性協調運動障害児の運動イメージとバランス能力の関連性
小山田記念温泉病院 清水 幸実
- O-22 運動の苦手さをかかえる児の縄跳び動作における上下肢運動のタイミングの特徴
福島県立医科大学 保健科学研究科 加藤 愛理
- O-23 乳幼児期の運動発達のパターンの違いと神経発達症との関係について
磐田市立総合病院 リハビリテーション技術科 一之瀬 大資
- O-24 当院における1,500g未満児へのリハビリテーション介入の有効性と今後の課題
竹田総合病院 薩谷 千寛
- O-25 就園に向けた支援を行い粗大運動能力及び保護者の満足度が向上した
PUR A関連神経発達異常症の一症例
苫小牧市こども通園センターおおぞら園 楠 拓也

12月21日(日) 09時00分～09時50分口述発表⑥：地域・教育連携

会場:第3会場 15A(1号館5階)

座長：馬屋原 康高 広島都市学園大学

- O-26 学校での運動介入プログラムは中学生の生活習慣とセルフエフィカシー、
ヘルスリテラシーに影響を与える
福島県立医科大学 保健科学部理学療法学科 楠本 泰士
- O-27 肢体不由児に対する電動移動機器の早期導入が認知・生活機能に及ぼす影響
介護老人保健施設メディコ阿久比 リハビリテーション科、中野 浩征
日本福祉大学 健康科学部
- O-28 性と習慣運動時間が小中学生の脊柱弯曲角度に与える影響
～成長期における脊柱弯曲の形成には性差がある～
医療法人博仁会 志村大宮病院 リハビリテーション事業部 長山 敬
- O-29 しゃがみ込み動作の関節運動パターンにみる関節間協調性の発達
～膝関節屈曲優位性からの脱却～
茨城県立医療大学 保健医療学部理学療法学科 滝澤 恵美
- O-30 CPAP療法下の両側先天性内反足・多発奇形合併症例の経過報告
～在宅における多職種連携の経験～
FIKA FARM株式会社 FIKA訪問看護リハビリステーション 増田 和也

12月21日(日) 10時00分～10時50分 口述発表⑦：乳幼児・学童

会場：第3会場 15A(1号館5階)

座長：日浦 伸祐 こどもと家族の整形外科よしだクリニック

- O-31 出生時より下肢関節可動域制限を認めた新生児に対する超音波画像診断装置を用いた評価と理学療法の経験
小田原市立病院 リハビリテーション室 佐藤 隆一
- O-32 小児生体肺移植後にWaterlow分類を用いた栄養評価とリハビリテーションを行った一例
信州大学医学部附属病院 リハビリテーション部 宮下 美奈
- O-33 痢攣重積型二相性急性脳症の運動機能について
ボバース記念病院 リハビリテーション部/理学療法 竹内 祐樹
- O-34 小児理学療法における医療事故の傾向と理学療法全般との比較
～事故予防の視点からの検討～
緑成会整育園 リハビリテーション部 石橋 哲弥
- O-35 Screen Time and Developmental Outcomes Among Children Aged 2-5 Years in Indonesia: A Cross-sectional Study
東京都立大学大学院 人間健康科学研究科 Khusnul Khatimah Nur Faidar

12月20日(土) 13時20分～14時10分 ポスター①-1：内部疾患

会場：第4会場 13C(1号館3階)

座長：臼田由美子 群馬県児童福祉課医療的ケア児等支援センター

- P-001 DIPG患児における訪問リハ導入時期と活動レベルの推移に関する後方視的検討
医療法人財団はるたか会 訪問看護ステーションそら 長島 史明
- P-002 Electrical impedance tomographyを活用した換気評価が有用であった無気肺を呈する重症心身障害児の一症例
埼玉医科大学総合医療センター リハビリテーション部 守岡 義紀
- P-003 乳児重度脳障害例に対するBCV併用排痰支援の経験
福山市民病院 リハビリテーション科 倭 紘志
- P-004 呼吸管理によって筋緊張の緩和が得られた一例
鳥取県立総合療育センター リハビリテーション部 池田 舞有
- P-005 入院患児と保護者に対するリフレッシュを目的とした新たな取り組み
－多職種協働スポーツチャレンジ－
高知大学医学部附属病院 リハビリテーション部門 倉元 美怜
- P-006 小児心臓移植術後のリハビリテーション～訪問リハビリ、外来リハビリの経験～
医療法人稜陽会 住田リハビリテーションクリニック リハビリテーション科 藤田 翔平
- P-007 デジタルデバイスを用いた活動量管理が運動耐容能改善に有用であった成人Fontan術後患者の一例
兵庫県立こども病院 リハビリテーション部 河村 勇祐

- P-008 当院PICUにおけるウイルス性感染症患者の呼吸理学療法の取り組み
社会医療法人愛仁会 高槻病院 技術部 リハビリテーション科 大場 落子
- P-009 小脳髄芽腫術後的小児に対する理学療法と運動機能評価：
症例報告とスコーピングレビュー
順天堂大学医学部附属順天堂医院 リハビリテーション室 田中 敬太

12月20日(土) 13時20分～14時10分 ポスター①-2：整形外科 会場：第4会場 13D(1号館3階)

座長：平石 卓朗 群馬医療福祉大学

- P-010 カーボン装具か靴型装具か足底装具か？
共有意思決定に向けた下肢装具作成における工夫と実践
福島県立医科大学 保健科学部理学療法学科 楠本 泰士
- P-011 幼児期における足部アーチ発達の多面的評価：フットプリント由来3指標による横断研究
日本医療大学 保健医療学部、札幌医科大学 医学部小児科学講座 宮城島 沙織
- P-012 ボツリヌス治療の施注評価と選択的後根切除術の切断率の関連性
－ケースシリーズ－
千葉県千葉リハビリテーションセンター 小児第二理学療法科 千葉 彩加
- P-013 出生時より四肢麻痺を呈した点状軟骨異形成症の乳児に対する理学療法の一経験
東邦大学医療センター大森病院 リハビリテーション科 鈴木 隼人
- P-014 選択的脊髄後根切断術後にGMFCSレベルⅢからⅡへ変化したため
慎重に予後予測をした症例
埼玉県立小児医療センター 保健発達部 花町 芽生
- P-015 CPに対する選択的後根切断術 (SDR) と術後理学療法の目標設定 (COPM) の
内容検討
北海道立子ども総合医療・療育センター リハビリテーション課 兼 西部 寿人
地域連携課在宅支援室、北海道科学大学 保健医療学部理学療法学科
- P-016 脊椎固定術の選択をどう支援するか
すりーぴーす南風 久保田 麻紀
- P-017 脳性麻痺の二次障害である半月板損傷への介入から再発予防のための定期的な外
来リハにつなげられた一症例
まちだ丘の上病院 リハビリテーション科 石田 優樹

12月20日(土) 14時20分～15時10分 ポスター②-1：神経発達

会場:第4会場 13D(1号館3階)

座長：山本 良彦 長野保健医療大学 保健科学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻

- P-018 児童発達支援での理学療法士による運動介入のケース報告
株式会社LITALICO 児童発達支援事業部 LITALICOジュニア 中川 聰美
- P-019 健常幼児の運動機能調査と介入プログラムによる協調運動機能の変化
みなと医療生協 協立総合病院 伴 龍登
- P-020 発達障がい児における知能検査と感覚統合検査の関連
芸西病院リハビリテーション部 小松 勝人
- P-021 DCD症状のある知的ギフテッド児一例に対する運動機能評価と支援
第2北総病院附属小児リハビリテーション事業所かざぐるま 伊藤 智典
- P-022 イルカ介在療法における重症心身障害児の自発性の変化
～理学療法的視点からの多面的評価～
医療法人社団のびた あのねコドモくりにっく リハビリテーション科、高橋 咲希
株式会社琉球マインド 訪問看護リハビリステーション七つの海
- P-023 不登校児童に対する訪問リハビリテーションによって外出機会が増加した一症例
藤が丘こころのクリニック 岩崎 千聖
- P-024 ASD傾向児における動画視聴中の注視行動と応答の記録
- Tobiiによる視線計測を用いた一考察-
特定非営利活動法人 土佐の風 児童発達支援センター とさっちくらぶ 熊谷 匡紘
- P-025 訪問リハビリテーションを受けている発達障害児の計画外入院関連因子の探索
～第2報～ ゆみのハートクリニック、メディキッズ訪問看護ステーション 相内 駿太朗

12月20日(土) 14時20分～15時10分 ポスター②-2：セレクション3 会場:第4会場 13C(1号館3階)

座長：横井 裕一郎 北海道文教大学 医療保健科学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻

- P-026 健常な小中学生、大学生におけるパソコン内蔵カメラを用いた手指動作感知機能によるゲームの信頼性と妥当性
福島県立医科大学 保健科学部理学療法学科 山廻辺 楓子
- P-027 保育所等訪問支援事業における理学療法士の業務の実態
～全国児童発達支援センターのアンケート調査より～
東京都立東大和療育センター分園 よつぎ療育園、
筑波大学 人間総合科学学術院 リハビリテーション科学 安藤 友子
- P-028 児童に対する体幹への運動療法が集中力に与える影響
-Pilot study- 順天堂大学大学院 保健医療学研究科 荒川 航樹
- P-029 当院NICUにおける頭部の向きの偏りに関連する因子の検討
～位置的頭蓋変形予防の観点から～
長崎みなとメディカルセンター リハビリテーション部 白木 剛志

- P-030 脊髄性筋萎縮症児の就学先決定における要因及び母親が学校教育に求めるもの
－質的研究による分析－
心身障害児総合医療療育センター
リハビリテーション治療部リハビリテーション室理学療法科、
筑波大学大学院 人間総合科学学術院人間総合科学研究群
リハビリテーション科学学位プログラム博士後期課程
齋藤 裕子
- P-031 短下肢装具を使用して歩容改善がみられた歩行可能な福山型先天性筋
ジストロフィーの一症例
東京女子医科大学 リハビリテーション部 澤野 花穂
- P-032 自閉スペクトラム症児における前跳び動作の感覚的側面に関する予備的検討
福井医療大学 福井医療大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻、 栗田 梨渚
福井医療大学大学院 保健医療学研究科 保健医療学専攻 博士後期課程
- P-033 生後10か月時にオナセムノゲンアベパルボベク投与を実施した
脊髄性筋萎縮症児への理学療法経験
一般財団法人太田総合病院附属太田西ノ内病院 理学療法科 武藤 晶

12月20日(土) 15時20分～16時10分 ポスター③-1：装具・ロボット 会場：第4会場 13C(1号館3階)

座長：安達 みちる 東京女子医科大学病院
川村 皓生 国立長寿医療研究センター

- P-034 疾患修飾療法後に運動発達を認めたSMA II型女児の装具療法適応と施設間連携の
課題
国立精神・神経医療研究センター病院 身体リハビリテーション部 竹内 瑞貴
- P-035 ITB療法により上肢機能と姿勢安定性が改善した重度脳性麻痺児の一例
国際医療福祉大学病院 診療技術部 リハビリテーション室 鈴木 晓
- P-036 Edinburgh Visual Gait Scoreを用いた歩行解析が脳性麻痺児の短下肢装具の処方
において有効であった1症例
北海道立子ども総合医療・療育センター リハビリテーション課 加藤 久幸
- P-037 重度運動障害を有する医療的ケア児に対する移動経験が自力移動能力・意欲と社
会性の発達にもたらす効果
金沢こども医療福祉センター リハビリテーション科 多賀 咲帆
- P-038 West症候群を合併した脳性麻痺児における座位保持装置の導入の効果
—修正月齢9ヶ月の1例—
小田原市立病院 リハビリテーション室 小堀 風結
- P-039 ダウン症候群を呈する児の外反扁平足用インソール装着後の姿勢ならびに歩行動
搖の変化－pilot study－
柳川療育センター リハビリテーション室、国際医療福祉大学 保健医療学部 久保 美沙希
- P-040 ロボットスーツHAL自立支援HAL下肢タイプHAL - FL07モデルを使用した2症例
の変化について
枚方総合発達医療センター リハビリテーション科 上原 隆浩
- P-041 立位困難となったデュシェンヌ型筋ジストロフィー児の車いす座位での足部変形
に対する靴型装具の検討
東京女子医科大学病院 リハビリテーション部 安達 みちる

12月20日(土) 15時20分～16時10分ポスター③-2：学校保健

会場:第4会場 13D(1号館3階)

座長：古川 敦 三重県立城山特別支援学校

- P-042 自立活動教諭（理学療法士）からみた特別支援学校教員との協働の成果と課題－アンケート調査による検討－
神奈川県立茅ヶ崎支援学校 支援連携グループ 本杉 直子
- P-043 世界の教育現場において近年実施されている姿勢教育や運動プログラムに関する文献レビュー
順天堂大学 保健医療学研究科 荒川 航樹
- P-044 養護教諭からの相談に応じて取り組んだ特別支援学級の自立活動における身体リテラシー教育の実践とその効果
茨城県立医療大学 保健医療学部理学療法学科 滝澤 恵美
- P-045 保育・教育現場における理学療法支援の展望 一教職員向けニーズ調査より一
樋原市子ども総合支援センター こども発達支援課 稲留 雅仁
- P-046 理学療法支援による運動のモチベーションの維持が減量成功につながった男子中学生の症例
医療法人社団雪嶺会 東京リハビリ整形外科クリニックおおた 佐々木 優太
外来リハビリテーション科
- P-047 幼児の運動能力はどう変化したか-単一の就学前施設における11年間の包括的データ分析からの示唆-
愛知医療学院短期大学 リハビリテーション学科理学療法学専攻 藤本 大介
- P-048 運動経験の異なる幼児男女における走力と基本的動作の関連性：バランス能力による重み付き重回帰分析
令和健康科学大学 リハビリテーション学部理学療法学科 岡 真一郎
- P-049 保育士による運動の不器用さがある子どもの運動機能評価と支援の検討に関する研究—CLASPを用いて—
名古屋市中央療育センター、名古屋市立大学大学院 人間文化研究科 伊藤 亞木

12月20日(土) 16時20分～17時10分ポスター④-1：ADL

会場:第4会場 13C(1号館3階)

座長：木元 稔 秋田大学大学院 医学系研究科保健学専攻理学療法学講座

- P-050 障がい者の自立生活の実際から見えてきた小児期リハの目標設定の一考察
デイサービスセンターワンダーハウス 木原 秀樹
- P-051 ベルトによる姿勢ケアを行い筋緊張が緩和した重症心身障害者の一症例
愛徳医療福祉センター 大沢 愛華
- P-052 幼児における性別間での日常生活動作、社会適応および筋機能の比較
高崎健康福祉大学 保健医療学部 穂吉 茉理花
- P-053 当院にて在宅移行支援を受けた小児患者家族に対するFamily-Centered Careの実態把握の予備的質問紙調査
長野県立こども病院 リハビリテーション技術科、西川 良太
長野県立こども病院 生命科学研究センター

- P-054 日常的にゲーム技術を用いて肥満が改善した一症例
株式会社 未来企画 アスノバ 放課後等ディサービス 吉野 ゆい
- P-055 児童発達支援（療育）における解決すべき課題と支援目標－10年間のサービス等利用計画の後方視的調査－
子ども発達さぽーとセンターあゆみ園 田中 あゆみ
- P-056 協調運動に問題をもつ児のQOLと親子のストレス調査
高島平中央病院病院 リハビリテーション科 戸塚 志帆美
- P-057 幼児期の四つ這い、ほふく運動が身体機能や運動イメージに及ぼす影響
神奈川県立こども医療センター 理学療法科、日本福祉大学 健康科学部 後藤 快乃助
- P-058 痢攣重積型急性脳症を呈したCHARGE症候群患者における運動および認知機能の回復過程
東京科学大学病院 リハビリテーション部 圖師 将也

12月20日（土）16時20分～17時10分ポスター④-2：脳性麻痺 会場：第4会場 13D（1号館3階）

座長：堀本 佳誉 千葉県立保健医療大学

- P-059 ベストプラクティスの原則に基づく介入により生活動作の目標が達成できた脳性麻痺児：症例報告
横浜療育医療センター リハビリテーション課 杉本 路斗
- P-060 脳室周囲白質軟化症患者における計数の能力と視知覚、粗大運動、コミュニケーション能力の関係
兵庫県立リハビリテーション中央病院 リハビリ療法部 清水 俊行
- P-061 中高齢の脳性麻痺者の粗大運動能力、日常生活動作と体幹・下肢筋の筋量および筋内非収縮組織、痙性との関連
高崎健康福祉大学 保健医療学部理学療法学科 正木 光裕
- P-062 外来リハビリテーションにおける成人期先天性疾患患者の保護者ニーズに関する実態調査
福岡リハビリテーション病院 リハビリテーション部 津本 要
- P-063 脳性麻痺児に対する1回の理学療法介入前後の立ち上がり・歩行動作の変化：症例報告
順天堂大学 保健医療学部 脇 遼太朗
- P-064 “安定・不安定”の視点で捉え直す座位90度姿勢の臨床的再評価
NPO法人ポップンクラブ 村上 潤
- P-065 重症心身障害児の肺炎予防を目的とした一例
一般社団法人多摩緑成会 緑成会整育園 リハビリテーション部 土屋 諒夏
- P-066 定型発達児と脳性麻痺児の夜間睡眠時に見られる風に吹かれた股関節肢位の決定的な違い
関西医科大学 リハビリテーション学部 佐藤 春彦
- P-067 他職種、他施設連携が奏効した左右差の強い脳性まひ児の理学療法経過～実用歩行獲得までの関わり
北海道立子ども総合医療・療育センター 古俣 春香

12月21日（日）09時00分～09時50分ポスター⑤-1：神経筋疾患

会場:第4会場 13C(1号館3階)

座長：藤田ひとみ 名古屋市立大学医学部保健医療学科

- P-068 2歳半に発症したCOVID-19後遺症による慢性炎症性脱髓性多発神経炎の一例-ずり
這いから独歩再獲得を通して-
熊本託麻台リハビリテーション病院 小児リハビリテーション室、福嶋 隼人
多機能型支援事業所たくまだい熊本（保育所等訪問支援事業所）
- P-069 歩行獲得後、成人期に歩行能力を維持しているネマリンミオパチーの1例
東京小児療育病院 リハビリテーション部 鈴木 みほ
- P-070 SMA児の成長に伴う目標変化と介入再考～COPMで見えた支援の在り方～
自治医科大学附属病院 リハビリテーションセンター 高石 恵太
- P-071 スピニラザ治療を開始した脊髄性筋萎縮症II型に対する自主訓練の経過報告
こども訪問看護ステーションじんおかざき 竹内 悠
- P-072 オナセムノゲンアベパルボベクを投与した脊髄性筋萎縮症II型の双胎児に対する
理学療法介入の経験
滋賀県立総合病院 リハビリテーション科 根岸 悠理
- P-073 脊椎側弯症に対する脊椎後方固定術後に理学療法を行ったシャルコー・マリー・
トゥース病の一症例
中川の郷療育センター リハビリテーション課 加藤 愛理
- P-074 呼吸不全急性増悪により気管挿管を行った学童期の先天性福山型筋ジストロフィー¹
ー患者の一例
NHO北海道医療センター リハビリテーション科 福本 幹太
- P-075 新生児期発症の脊髄性筋萎縮症I型児に対して早期から脊柱側弯に配慮しながら
理学療法を行った一例
大阪母子医療センター リハ・育療支援部門 崎田 博之
- P-076 小児に対するプロトコル準拠の拡散型圧力波治療による痙攣筋の変化
千葉県千葉リハビリテーションセンター リハビリテーション治療部 道家 咲楽

12月21日（日）09時00分～09時50分ポスター⑤-2：神経発達症1

会場:第4会場 13D(1号館3階)

座長：粕山 達也 健康科学大学

- P-077 座位姿勢における音楽の曲調の変化が重症心身障害者にもたらす影響についてー
自律神経活動と脳波を用いてー
高邦福祉会 柳川療育センター リハビリテーション室 菊次 幸平
- P-078 上肢運動制御の改善が短距離走パフォーマンスに与えた影響に関する一症例
株式会社奏音 発達支援ルームらしど、
株式会社奏音 いろは訪問看護リハビリステーション 寺岡 蓮
- P-079 リズム課題によりバランス能力の改善が認められた発達性協調運動障害の一症例
つくば公園前ファミリークリニック リハビリテーション科 秋田 遥駿

- P-080 オンライン運動支援を受ける児童の縄跳び達成状況と診断の有無による違いの検討
PAPAMO株式会社 へやすぽアシスト 廣澤 健太
- P-081 理学療法介入を通じて生活習慣の改善がみられた症例の経験
熊谷総合病院 石野 愛実
- P-082 感覚運動経験の拡大により座位機能の向上がみられた視覚障害を伴う精神運動発達遅滞の1症例
社会福祉法人侑愛会 ゆうあい会石川診療所 田縁 友博
- P-083 小児科クリニックにおける生活習慣と発達特性・肥満傾向の関連－アンケート分析から見えたこと－
医療法人社団のびた あのねコドモくりにっく ハビリテーション部 石田 輝也
- P-084 運動発達に遅れを認めたプラダー・ウィリ症候群児への理学療法経験-片手歩行獲得までの経過報告-
くまもと江津湖療育医療センター リハビリテーション科、井手 義智
九州中央リハビリテーション学院 理学療法学科

12月21日(日) 10時00分～10時50分 ポスター⑥-1：神経発達症2 会場：第4会場 13D(1号館3階)

座長：畠中 良太 大阪河崎リハビリテーション大学 理学療法学専攻

- P-085 発達障がい児への早期のリハビリテーション介入の取り組み
－ASD 3歳8か月 男児を通じて－
倉敷市立市民病院 リハビリテーション科 杉村 将太
- P-086 5歳児における行動特性と上肢協調性・運動機能の関連
宝塚医療大学 保健医療学部 理学療法学科 成田 亜希
- P-087 児童発達支援事業所への遠隔での縄跳び運動プログラム提供による児童への影響
：症例集積研究
PAPAMO株式会社 へやすぽアシスト 堂面 勝哉
- P-088 健常児と協調運動に問題をもつ児の姿勢制御における前庭機能の調査
名古屋市立大学医学部附属東部医療センター 岩瀬 七海
- P-089 コミュニケーションに困難を抱える児童のためのソフトウェアベース支援玩具の開発－臨床応用に向けた評価－
名古屋市立大学大学院 医学研究科 石田 聖岳
- P-090 自閉スペクトラム症児の衝突回避支援に向けた課題設計の予備的検討
東京大学大学院 新領域創成科学研究科 菊地 謙
- P-091 自閉傾向を有する歩行獲得が遅延したダウン症児に対して遠城寺式発達検査法を行い家族と連携を図った症例
医療法人紅萌会 福山記念病院 リハビリテーション科 竹光 一登
- P-092 @ATTENTIONを用いた学童期ADHD児2例の注意機能及び視線分析の試み
児童発達支援センターとさっちくらぶ 相談支援課 岩崎 史明

12月21日(日) 10時00分～10時50分ポスター⑥-2：歩行

会場:第4会場 13C(1号館3階)

座長：渡部 潤一 山形県立保健医療大学

- P-093 足関節の整形外科的選択的痙性コントロール手術後における歩行パラメータの変化
佐賀整肢学園こども発達医療センター リハビリテーション部 前田 伸也
- P-094 GMFCSレベルⅡSDR術後の経過について
沖縄南部療育医療センター リハビリテーション課 上原 久人
- P-095 発達性協調運動症を呈する小学生男子に対する継続的な運動効果～階段動作に着目した介入～
株式会社未来企画 放課後等デイサービスアスノバなないろの里 関 知佳
- P-096 7～12歳の発達障害児の歩行開始時と障害物跨ぎ歩行開始時の予測的姿勢調節の特性
大分大学 福祉健康科学部 入口 瞳夕
- P-097 足部筋解離術後において足関節の動きが改善し、装具除去を提案できた一症例について
佐賀整肢学園こども発達医療センター リハビリテーション部 栗原 まり
- P-098 内側縦アーチと走力の関連性：幼児と小学生の比較
札幌医科大学附属病院 リハビリテーション部 佐藤 優衣
- P-099 歩行能力を有する重症心身障害者における筋力維持について-3週間歩行運動が制限された1例-
はながしま診療所、障がい福祉サービス事業所はながしま 田代 峻一
- P-100 歩いて地域のコンビニエンスストアに通った重症心身障害者のTotal Heart Beat Indexの変化
ライフゆう 廣澤 匠

12月21日(日) 11時00分～11時50分ポスター⑦-1：評価尺度・研究調査 会場:第4会場 13D(1号館3階)

座長：高木 健志 東京工科大学

- P-101 当施設に入所している超・準超重症者における経年変化
医療福祉センター 札幌あゆみの園 診療部 梅井 千夏
- P-102 臨床教育マニュアルによる新入職員理学療法士への教育的効果および家族中心ケア実践への効果について
中川の郷療育センター 診療部リハビリテーション課 宮本 清隆
- P-103 ADL介助の変化を捉えることが困難な重症心身障害者に対する理学療法目標の見直しに向けた取り組み
北海道済生会小樽病院みどりの里 機能訓練課 近藤 健
- P-104 Posture and Postural Ability ScaleとChailey姿勢評価を用いた重症心身障害児における食事姿勢の検討
高邦福祉会 柳川療育センター リハビリテーション室 高松 夏帆

- P-105 小児疾患に対する膝立ちを用いた理学療法介入の目的に関する調査
～無記名式アンケート法を用いた予備調査～
東京都立大学大学院 人間健康科学研究科 山崎 瑞佳
- P-106 AIを用いた乳児の頭部運動自動解析の試み
京都大学医学部附属病院 リハビリテーション部 浅野 伝美
- P-107 ハマースミス乳幼児神経学的検査と乳幼児感覚プロファイルによる超低出生体重児の早期発達特徴を捉える試み
国立成育医療研究センター リハビリテーション科 峯 耕太郎
- P-108 障害児・医療的ケア児の社会資源の利用について～医療・福祉サービス利用の満足度調査の比較研究～
山梨大学大学院 医工農学総合教育部生命医科学専攻修士課程 荒井 望
疫学・環境医学講座、医療法人久晴会
甲斐リハビリテーションクリニック リハビリテーション部

12月21日(日) 11時00分～11時50分 ポスター⑦-2：乳幼児

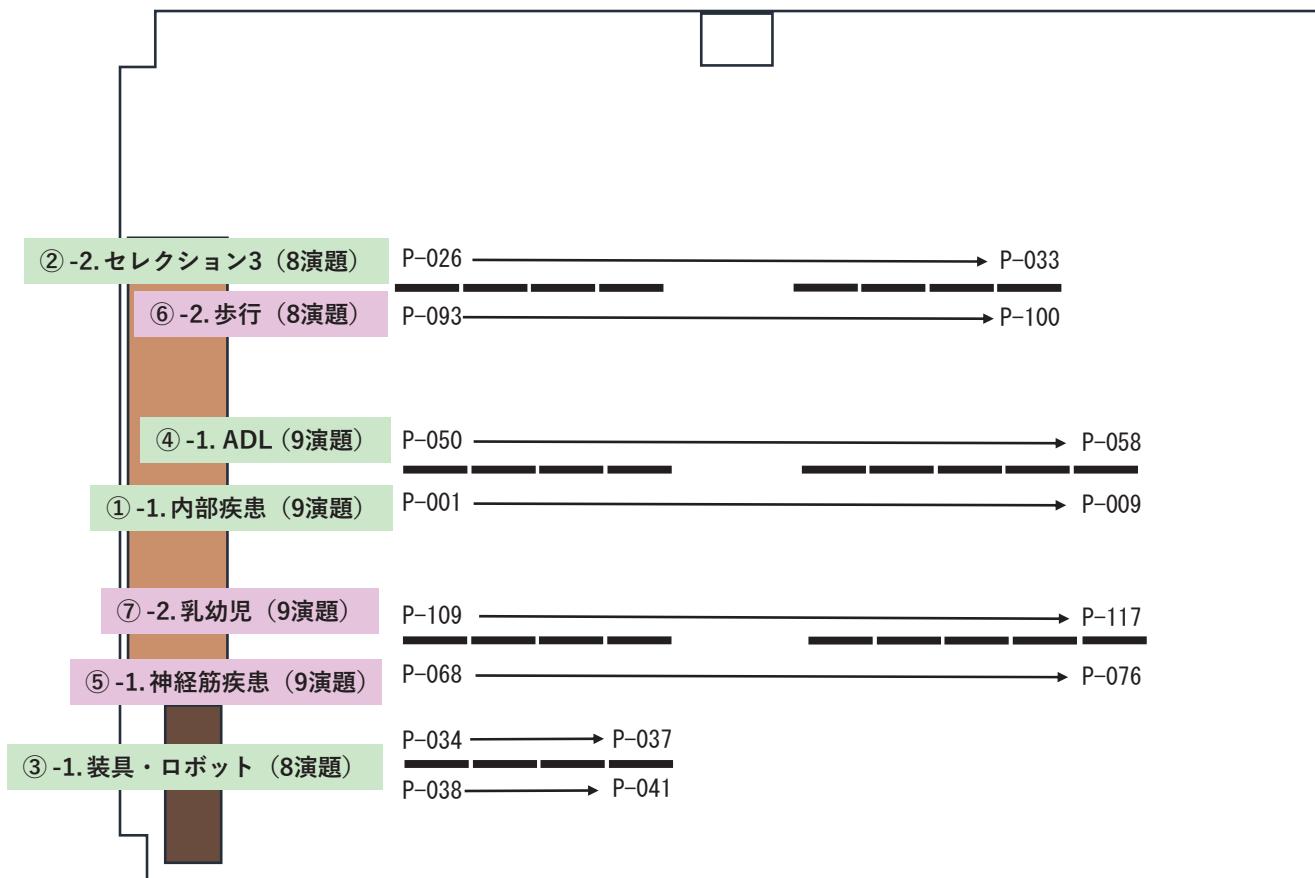
会場：第4会場 13C(1号館3階)

座長：儀間 裕貴 東京都立大学

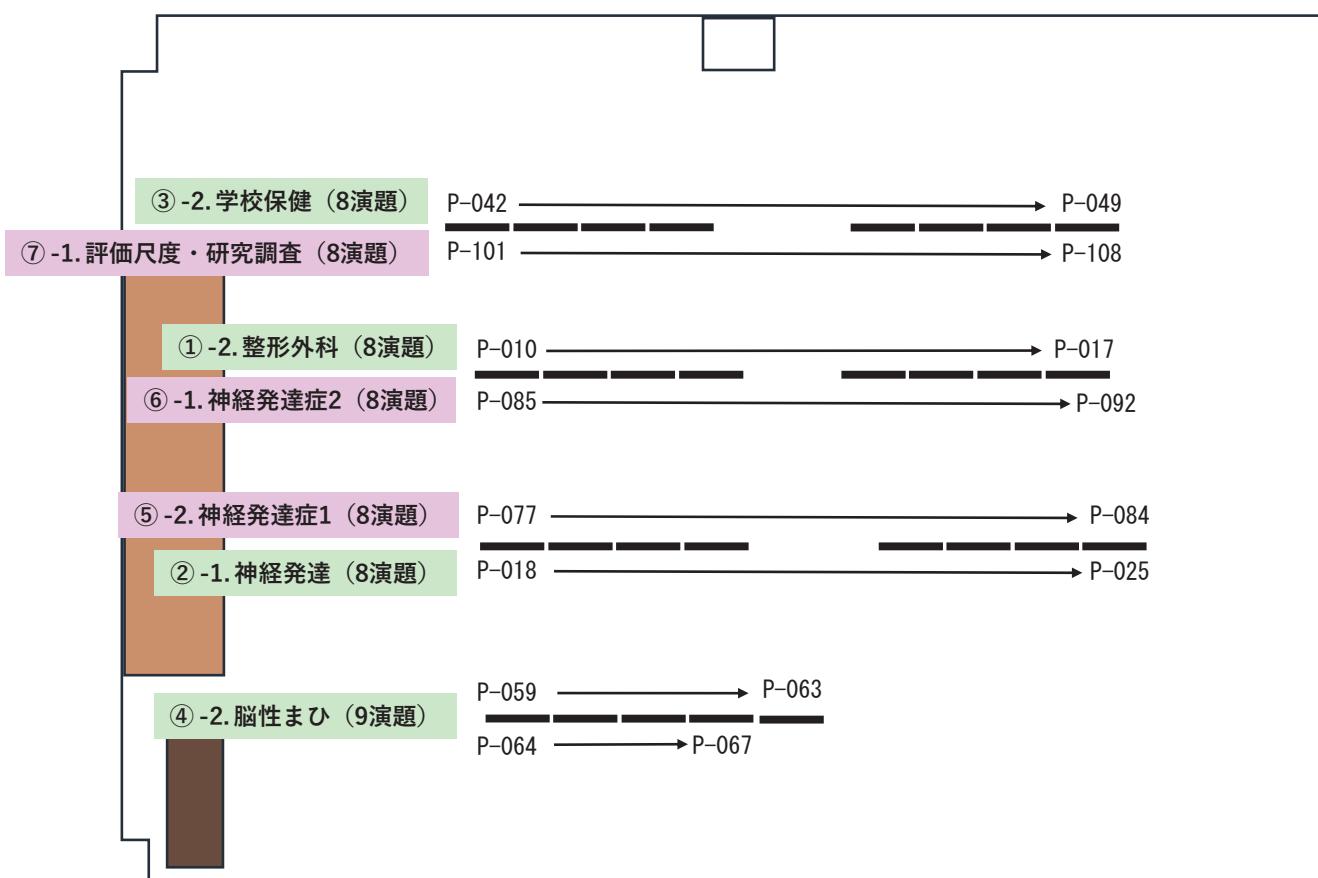
- P-109 乳児の難治性てんかん患者4症例のGeneral Movements評価の報告
国立精神・神経医療研究センター病院 身体リハビリテーション 松永 彩香
- P-110 ECABの使用が座位特性の明確化と家族への情報共有に役立った痙攣重積型急性脳症後遺症の1例
神奈川県総合リハビリテーションセンター 理学療法科 仲山 玖未
- P-111 HABIT-ILE概念に基づく介入が粗大運動機能に及ぼす影響
-Gross Motor Function Measure Evolution Ratioを用いて-
千葉県千葉リハビリテーションセンター リハビリテーション治療部 小川 智美
小児療法室 第2理学療法科
- P-112 当院NICU・新生児病棟における新生児外科疾患に対する理学療法の現状
神奈川県立こども医療センター 発達支援部 理学療法科 長山 美穂
- P-113 脳性麻痺児における幼児期から学童期までのF-words Life wheelの2年間の推移とその実践的意義
栃木県立リハビリテーションセンター こども発達支援センター 通園療育課 室井 亜紀子
- P-114 ロイスディーツ症候群を呈した乳児例のリハビリテーション経過報告
松戸市立総合医療センター リハビリテーション科 宮川 研
- P-115 NICU入室児におけるNPPVと横隔膜の関連について
公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院 リハビリテーション科 富 謙伸
- P-116 細網異形成症の超低出生体重児に対するリハビリテーションの経験
名古屋大学医学部附属病院 リハビリテーション部 府金 幸紀
- P-117 早産低出生体重児の運動発達特性：
修正12か月までの姿勢安定性と足部過緊張の関係
青森県立あすなろ療育福祉センター 診療部リハビリテーション科 川原田 里美

ポスター会場レイアウト

■ポスター会場 ① (第4会場: 13C)

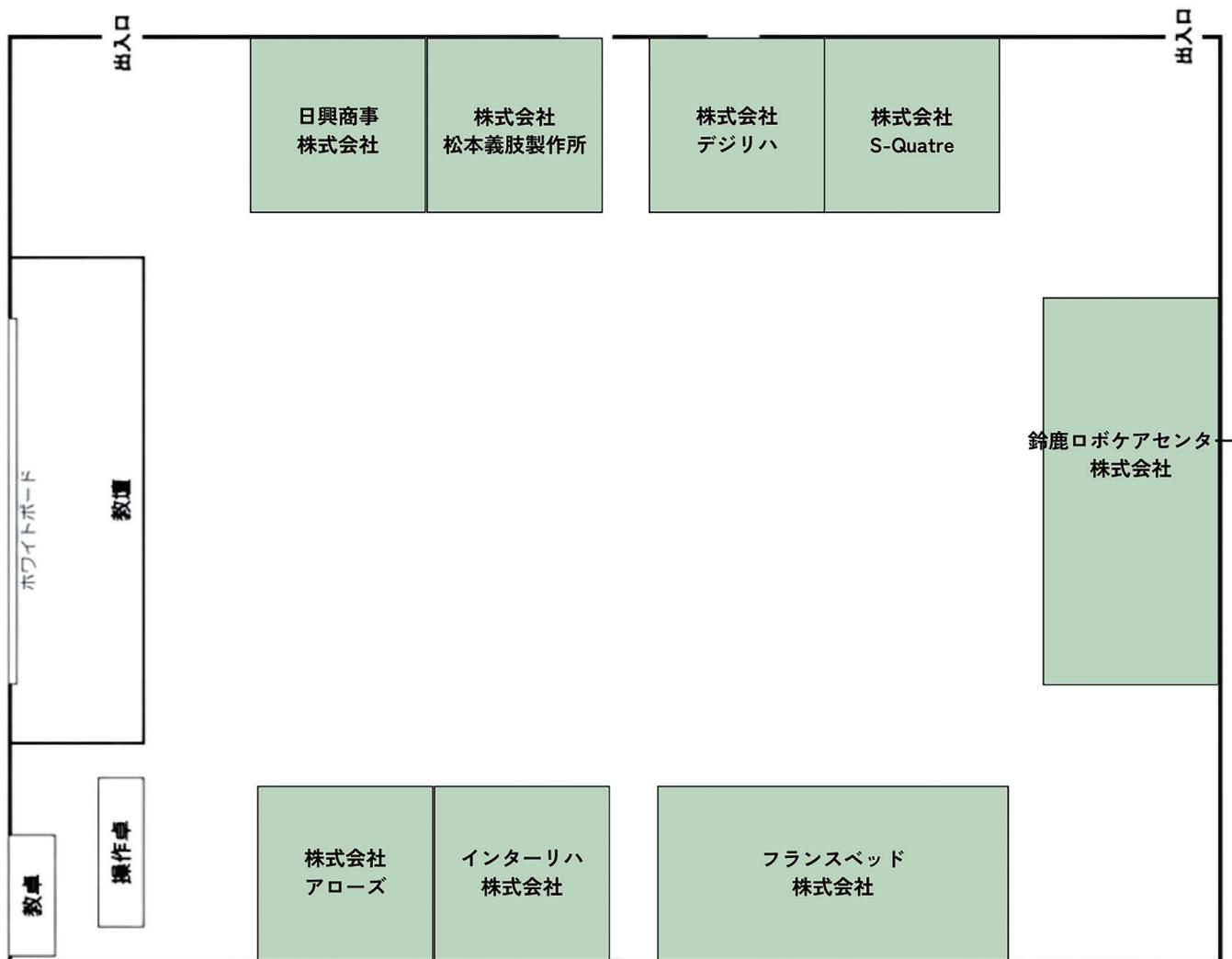


■ポスター会場 ② (第4会場: 13D)



企業展示会場レイアウト

■企業展示会場（第5会場：13B）



協賛ご芳名

■共催ランチョンセミナー

フランスベッド株式会社
インターリハ株式会社
鈴鹿ロボケアセンター株式会社
トビー・テクノロジー株式会社
株式会社S-Quatre

■企業展示

フランスベッド株式会社
インターリハ株式会社
鈴鹿ロボケアセンター株式会社
トビー・テクノロジー株式会社
株式会社S-Quatre
株式会社アローズ
株式会社松本義肢製作所
日興商事株式会社
株式会社デジリハ

■広告

一般社団法人ファミリハクリエーション
株式会社今仙技術研究所

■寄付

一般社団法人ファミリハクリエーション
(敬称略/五十音順/2025年12月8日現在)

海外講師講演の質問受付について

海外講師による以下の二つの講演の質問は、以下の QR コードからご入力ください。
質疑応答中も受け付けますが、通訳の関係で、できるだけご講演中にご入力頂けますように
お願い申し上げます。

12月20日(土)11:10~12:20

特別講演

OPC(Occupational Performance Coaching)の紹介

講師：Dr. Laine Chilman (University of the Sunshine Coast)
Dr. Charmaine Bernie (Southern Cross University)

司会： 藤中 良彦
(大阪保健医療大学保健医療学部リハビリテーション学科)



12月21日(日)9:00~11:30

市民公開講座

カナダ発、家族と共につくるこども支援の新しい形 -「できる」から広がるこどもと家族の未来-

講師：Can Child からスピーカー

司会：横井 裕一郎
(北海道文教大学)

